

平成24年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・通年・必修	
	対象学科・専攻	都市環境デザイン工学科	
基礎製図Ⅰ (Basics of Design Drawings I)	担当教員	毛利 洋子 (Mouri, Yoko) 岡松 道雄 (Okamatsu, Michio)	
	教員室	毛利：都市環境デザイン工学科棟2階 (TEL: 42-9121) 岡松：都市環境デザイン工学科棟3階 (TEL: 42-9122)	
	E-Mail	毛利：mouri@kagoshima-ct.ac.jp 岡松：okamatsu@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分)] × 30回		
[本科目の目標] 製図の基礎知識および技術の習得を目的とし、都市環境建設分野における実用製図の読み取りと作成に役立てる。			
[本科目の位置付け] 土木・建築構造物に限らず、いまや、あらゆる分野にわたる製図がCADを用いて行われている。しかし、その基礎は、2点が結ばれた直線、3直線以上が結ばれた平面である。これら、点、直線、平面の投影を手描きの図面としてトレーニングすることで良く理解する。また、建築士の受験を前提とした製図の基礎を身に付ける。			
[学習上の留意点] 本科目は、講義と演習の形態をとる。立体構造物の感覚を最終目的とするため、基礎的な点・直線の投影を必ず理解する必要がある。また、将来建設関係の職業に携わるための基本的な製図の基礎を身に付けることを念頭に付ける。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. ガイダンス・製図の役割	2	<input type="checkbox"/> 図面の持つ意味、約束、建築生産における製図の役割について理解できる。	
2. 製図用具の使い方・スケッチ	2	<input type="checkbox"/> 製図用具の使い方について理解できる。 <input type="checkbox"/> 実測とスケッチが出来る	教科書p8～15について概略を把握しておく。
3. ドラフターの使い方・基本図形と線・面の分割	2	<input type="checkbox"/> ドラフターの使い方が理解できる。 <input type="checkbox"/> 線・面の分割が出来る。	教科書p18,p19について概略を把握しておく。
4. 線の練習	4	<input type="checkbox"/> 課題「線の練習」が作成出来る。	教科書p60,p61について概要を把握しておく。
5. 立体造形	4	<input type="checkbox"/> 課題「立体造形」が作成出来る。	
6. 三面図の作成	6	<input type="checkbox"/> 課題「立体造形」を三面図に表す事が出来る。	教科書 p20,p21 および p26～
7. 平行投影図・透視図	8	<input type="checkbox"/> 平行投影図や簡単な透視図を作成することが出来る。	p39について概要を把握しておく。
課題作品の返却と解説	2	<input type="checkbox"/> 課題作品の評価と改善点が理解できる。	
8. 平面図の意味と描き方	2	<input type="checkbox"/> 建築における平面図の意味が理解できる。	教科書p60～p73について概略を把握しておく。
9. 製図規約と縮尺	2	<input type="checkbox"/> 製図規約と縮尺について理解できる。	
10. 平面図・配置図の描き方	2	<input type="checkbox"/> 「平面図・配置図」の描き方が理解出来る。	教科書p74～p79について概略を把握しておく。
11. 平面図・配置図の模写	4	<input type="checkbox"/> 課題「平面図・配置図」が作成出来る。	
12. 立面図・断面図の描き方 立面図・断面図の模写	4	<input type="checkbox"/> 「立面図・断面図」の描き方が理解出来る。 <input type="checkbox"/> 課題「立面図・断面図」が作成出来る。	教科書p42～p49について概略を把握しておく。
13. 住宅模型の作成	6	<input type="checkbox"/> 住宅模型が作成できる。	寮室を実測しておく。
14. 実測と平面図・展開図	4	<input type="checkbox"/> 寮室を実測し平面図と展開図を作成できる。	
15. 室内模型の作成	4	<input type="checkbox"/> 実測図を基に模型を作成できる。	
課題作品の返却と解説	2	課題作品の評価と改善点が理解できる。	
[教科書] 「建築設計演習1 基礎編：図法から空間へ」 峰岸 隆 ほか 著			
[参考書・補助教材] プリント、スライド、 「建築デザインの基礎 ―製図法から生活デザインまで―」 本杉 省三 ほか 編著 - 彰国社			
[成績評価の基準] 課題提出(100%)―授業態度(上限10%)			
[本科(準学士課程)の学習・教育目標との関連] 3-c			
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]			
[JABEEとの関連]			

Memo